

# こやま地区同推だより



発行:湖山地区同和教育推進協議会 TEL:0857-28-1017 FAX:0857-28-1017

2005年(平成17年9月)

## 小地域研修会(座談会) 実施に理解と協力を!



湖山地区同推協会 会長 飯田寛司

平成17年度から3ヶ年にわたり、湖山地区全22町区で同和教育小地域研修会の実施計画を評議員(区長)さんを通じてお願いしているところですが、今年度の計画について去る8月10日(水)に該当区長さんの出席をいただき、連絡協議会を開催致しました。部落差別をはじめとするあらゆる人権問題は世の命題であり、すべての市民が取り組まなければ前進・解決しない課題だと思っております。かかる観点に立って、今年度の予定町区は次のようになっておりますので、格別のご理解とご協力をお願い致します。なお、実施期日、会場、講師、機器、経費等にかかわる条件整備は事務局の方でお世話を致しますので、会員の方々の自分のこととしての前向きな取り組みを願っております。

**17年度割り当て町区** ○鳥川 ○茶屋四区 ○青葉台  
○駅前二区 ○南二丁目 ○コクヨ前 ○さかえ  
※茶屋一区は平成17年5月8日に既に実施済みです。

## 第1回湖山地区人権啓発学習会

6月22日湖山地区公民館

「子どもたちは今」～子どもの人権は守られているか、  
子どもの現状から見えてくるもの～

鳥取子ども学園 藤野興一園長の講演を拝聴して

### 子どもの現状として

- ①虐待が増え続けている  
背景に社会的孤立・虐待の連鎖、養育困難、管理と強制養育や教育などがある。
- ②不登校が増え続けている  
管理養育・教育によって「安全」「自信」「自由」が奪われているのでは?子どものありのまま、丸ごとを受け入れることが大切。
- ③戦後の非行第4のピーク  
質的・量的に変化している。非行や問題行動の背景に親による虐待がある場合がある。

### 新しい子育て文化を

- ①人間は社会的動物である。ヒトは人間に育てられ人間になる。鳥取子ども学園では「人間の尊厳」「自分も他人も大切に」「共に育つ」ことを大切にしている。
- ②子どもの発達課題の「積み残し」部分を挽回する。  
共生期、第一反抗期、自我形成(3歳までに)9歳の壁、キヤングエイジ(小学3～4年生)思春期、第二反抗期(中学2～高2年生)青年期
- ③子どもに対して家庭の包容力、学校の包容力、地域の包容力がどれだけあるのだろうか。

### 感想

少子化の時代、親も子どもも孤立させないで、丸ごと受け入れ、地域住民人の一人として、まず声かけ、あいさつから始めたい。児童・養護施設子ども学園長として、子どもの人権を守るために献身的に活動しておられる藤野先生の生き方に深い感銘を受けた。(三橋推進員)



人権啓発学習会での参考資料です。  
みなさん、どうぞ読んでみてください。



## 子どもの 養育十戒

(Kelmer Pringle, The Needs of Children, 津崎哲雄訳)

- 第1戒 子どもには、連続し首尾一貫した愛情ある養育を与えよ。これは、食物が身体にそうであるように、子どもの心の健康にはなくてはならないことである。
- 第2戒 自分の時間を溢れるほど注ぎ、子どもを理解しようと努めよ。一緒に遊んだり、本を読みきかせたりすることは、家庭をこぎれいにしたり、きっちりと片付けたりすることより、はるかに重要である。
- 第3戒 絶えず子どもに新たな経験をさせ、溢れるほど言葉かけを行なえ。そうした働きかけは、子どもの心の豊かな成長に不可欠である。
- 第4戒 探検したり、模倣したり、組み立てたり、ごっこ遊びをしたり、創造したり、あらゆる方法で子どもが一人遊び、他の子どもとの遊びの両方を行うよう奨励せよ。
- 第5戒 成し遂げたことより、成し遂げようと努力したことの方を余計にほめよ。
- 第6戒 子どもが果たす責任(仕事)を次第に増やしてゆけ。あらゆる技能と同様、責任(仕事)を果たすには実際にそれを行わせることが必要である。
- 第7戒 すべての子どもはユニーク(固有の存在)であることを忘れるな。ゆえに、ある子に相応しい取扱いが他の子どもに通用するとは限らない。
- 第8戒 子どもに「だめ」と言う場合は、その子の気性、年齢、理解度に相応しく伝えよ。
- 第9戒 もうおまえを愛するのはやめるとか、おまえを手放すとかいうような脅しを絶対に行うな。子どもの行動を拒否することはかまわないが、子ども自身を拒否するような言動は絶対に慎め。
- 第10戒 子どもから感謝を期待するな。子どもは自ら誕生を望んだわけではなく、産む選択は親がなしたのであるから。

第30回部落解放・人権西日本夏期講座に参加して

湖山地区同推協会 会長 飯田寛司

さる7月21日(木)～22日(金)の2日間にわたり、大分県日田市総合体育館において開催された。この集會に参加する機会を得たので、その時の感想と報告を述べたいと思います。この集會に参加する機会を得たので、その時に盛んに開催された。二日間にわたり取り上げられたテーマは次のような内容でした。

(1)「日本の歴史認識と東アジアの平和構築を考える」  
東泉女学園大学教授 内海愛子氏

(2)「これからの部落解放運動」第2次大戦終結と部落解放運動再建から60年にあたって」  
部落解放同盟中央執行委員長 組坂繁之氏

(3)「特別アピール」スマトラ沖地震・大津波と国際連帯」  
MADR(反差別国際運動)事務局長 森原秀樹氏

(4)「教育基本法改正とは何を意味するか」  
松山大学助教授 大内裕和氏

(5)「連続大量差別はがき事件とハンセン病元患者宿泊拒否事件」  
対談形式による報告  
国立療養所菊池恵楓園入所者自治会副会長 志村 康氏  
部落解放同盟東京都連合会執行委員 浦本善至史氏

「(5)テーマの講演、報告を受講しましたが、いずれも今までとは違った視点での内容が多く、考えさせられる内容でした。とくに、(5)の内容は当事者による生々しい報告で、常軌を逸した差別の現実を、特別措置法施行40年が経過して今なお、許しがたい差別事象が全国各地で発生しているというこの認識と、私たちのまわりには事の大小は別として、人権を侵害しているということが現実にも多数存在するということを再認識して帰りました。

### 平成17年度 湖山地区同推協 (4月～8月) 事業実施状況

- 5月8日 小地域研修会
- 5月11日 湖山地区同推協総会研修  
茶屋一区(川口幸一講師)会長、推進員、職員  
「学校教育における同和教育の概要」課題  
講師 松ノ谷 博氏
- 6月9日 第1回人権啓発推進事業公民館同推協後援  
「子どもたちは今」  
講師 藤野 興一氏
- 6月25日 第1回同和教育推進員研修会  
講師 藤野 興一氏
- 7月25日 第2回同和教育推進員研修会
- 7月26日 湖東ブロンク同和教育研究会合打合せ会  
(湖山地区公民館)
- 7月26日 湖山地区同推だより編集委員会
- 8月3日 第32回部落解放鳥取市研究会  
(推進員2名、社福協会長、職員参加)
- 8月10日 小地域座談会実施計画打合せ
- 8月23日 第30回部落解放鳥取県研究会  
(推進員2名、社福協会長、職員参加)
- 8月24日 県立倉吉体育文化会館/推進員、職員参加



元気な  
お祭り